

広報

とちぎ湖

うみ 湖海と火山と緑の大地が結び合い
元気をつくる交流のまち

第25回とうや子ども共和国が、8月7日の七夕の日に洞爺総合支所駐車場で開かれました。

短冊を飾ったり、ゲームやビンゴなどで、子どもたちは楽しみました。

中でも、流し冷や麦は毎年大人気の取組みで、子どもから大人まで堪能していました。

笑顔があふれる流し冷や麦

主な内容

- 中学生避難所開設体験学習会…… p 2
- 平成27年度慰霊式…… p 4
- 地方創生パブリックコメント…… p 5
- 国民健康保険制度…… p 6

9月
2015年
VOL. 114

次世代に避難体験継承

中学生避難所開設体験学習会

次 期噴火に備えて、噴火の体験を伝えていこうと8月7日虹田小学校で、町内の中学2年を対象に避難所開設体験学習会（教育委員会・

「避難所開設体験学習会」実施委員会主催）が開かれました。虹田、洞爺各中学校から

約50人が参加し、避難所開設や運営の体験のほか救命処置などを実践学習しました。同学習会は、昨年に続いて2回目。

昨年2月に洞爺湖町教育改善推進委員会は、洞爺湖町の子どもたちの「生きる力」を



2000年の噴火の体験を聞く中学生たち

育むとした提言書をまとめ、その中で特色ある教育部会が「地域の特性から、有珠山を中核とした防災教育の推進及び地域の素材を生かした教育活動の推進」を打ち出しました。教育委員会では、このような提言を受け、将来避けることのできない有珠山噴火を見すえて、あらゆる災害時に、避難する側だけでなく、

避難住民の受け入れや、お世話をする側として、積極的に行動できるような人材の育成を狙い、1977年有珠山噴火の日である8月7日に、同学習会を継続して実施していくことを決定しました。

避難体験の大変さを実感

体験学習会では、最初に有珠山火山マイスターの荒町美紀さんが「2000年の避難所体験」と題して、自身の避難体験をもとに、その生活の大変さを語りました。

当初自主避難のため、情報が全く入らず、どういう事態になっているのかわからずに不安であったことを話しました。

その後520人ほどを収容する避難所に入所しましたが、4月初旬ということもあり、まだ寒く体調をくずした

ことやプライバシーが守られず、着替えなどに困ったことなど、思うようにいかなかった日々を話しました。

最後に同じ避難所の高校生が、自身の子どもの相手をよくしてくれたことをひきあい、「中学生でもできることはたくさんあるので、避難者のために何か実践していつてほしい」と、思いやりの心とボランティア精神の大切さを訴えました。

避難所開設と救命講習会

講話の後、具体的な作業に取りかかり、まず7人、8人一つのグループとする班を7個編成し、避難者役班と役場職員役班に役割分担を決定。

その後役場職員班の指導の下、全員でマット、毛布などの物資の搬入、搬出、避難所の設営、段ボールでの簡易テーブル作りなどを体験しました。

段ボールを利用したテーブル作りでは、マニュアルの無い作業にとまどう場面もありましたが、グループでコミュニ



心臓マッサージの実践学習

ニケーションを取って完成させました。

午後からは、西胆振消防組合洞爺湖支署（加藤直幸支署長）の職員7人が説明役となり、心臓マッサージ、人口呼吸、AED操作の実技を学習しました。

役場職員班の担当リーダー虹田中の和田遥翔君は「普段できないような体験だった。災害時には学んだことをいかしたい」と話しました。

虹田中学校の久保順平校長は「避難所設営、救命講習会と、生徒が目的意識をもって意欲的に取り組んでおり、おおむねよかった」と評価しました。

大変だった! 避難生活体験



- ①班を編成し、リーダーと副リーダーを決めることから体験学習はスタート。
- ②役場職員役が中心となって、今後の作業の手順を班のリーダーに説明します。
- ③避難所開設作業。全員で毛布を敷いて避難所を作ります。
- ④みんなで協力して、段ボールを使ってテーブルを完成させます。
- ⑤食事の配給は、避難所では大切な仕事です。

戦後70年

戦没者追悼式

永遠の平和誓う



平成27年度戦没者追悼式が、洞爺と虻田各地区で行われ、遺族ら関係者が戦没者を追悼するとともに、戦後70年を迎えて、平和の大切さを改めて祈願しました。

8月5日に行われた虻田地区の追悼式では、会場の虻田

式典では、全員の黙とうの後、真屋町長が「謹んで追悼と慰霊の誠を捧げます。世界の恒久平和を願い、その大切さを若い世代にも語り継いでいかなければなりません」と式辞を述べました。

引き続き、北海道知事、洞爺湖町議会議員、北海道連合遺族会、洞爺湖遺族会会長が、戦没者に追悼の言葉を述べ、全員が、きくの花を捧げて冥福を祈りました。

これに先立ち7月28日に洞爺地区でも忠魂碑前に約40人が参加して追悼式が開かれました。

真屋町長や来賓

洞爺地区戦没追悼式

真屋町長や来賓

の式辞や追悼の言葉が述べられた後、洞爺地区の遺族会を代表して鈴木孝さんが「戦没者各位の御霊の前に謹んで哀悼の意を捧げます。歳月を超えて聞こえる戦争体験者の声や戦争の歴史の教訓を学んでほしい」と追悼の言葉を述べました。



虻田地区戦没者追悼式

戦争体験の記憶を次の世代へ すいとん食べて戦争を語りつぐ集い

終戦を迎えた8月にあわせて、すいとんを食べながら、平和の尊さや大切さを考える「すいとん食べて戦争を語りつぐ集い」（洞爺湖非核平和のまちづくり実行委員会＜長崎良夫委員長＞主催）が、8月30日虻田ふれあいセンターで開催され、子どもから高齢者まで約50人が参加しました。

集いでは、新日本婦人の会洞爺湖支部の歌声コーラスによる「青い空は」の合唱でオープニング。

長崎良夫委員長が「8月といえば、8月15日のことを忘れることができない。戦後70年が経ち、改めて8月のこの日を忘れずに語り継いでいってほしい」と挨拶しました。

引き続きアニメ「ヒロシマに一番電車が走った」を鑑賞。その後すいとんを食べながら、樺太からの引揚げや満州での出兵など厳しく、壮絶な体験が語られ、平和への思いを強くしました。



すいとんを食べながら戦争体験を語り合う

洞爺湖町人口ビジョン(案)並びに洞爺湖町まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)へのパブリックコメントを募集!

洞爺湖町の人口は、7月31日現在の9,406人から2060年には3,092人まで減少すると推計されています。この問題に対応するため、自然豊かなまちの魅力と地域資源を生かした雇用創出と移住定住策、結婚・出産・子育ての希望をかなえるための実行計画となる総合戦略(今年度から5カ年)の策定を進めています。

現在、町のまち・ひと・しごと創生有識者会議で議論をしていますが、総合戦略策定の参考として、皆さんからのご意見を募集します。

※推計は、国立社会保障・人口問題研究所調べ



- 【募集内容】** 洞爺湖町人口ビジョン(案)
洞爺湖町まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)
- 【募集期間】** 9月25日(金) 必着
- 【閲覧方法】** 企画防災課窓口・洞爺総合支所・温泉支所(来られない方は企画防災課に連絡ください)・洞爺湖町ホームページ
- 【対象者】** 町内在住者・同事業主・同勤務者。同在学生など
- 【提出方法】** 郵送、ファックス、電子メール、または

直接持参・様式意見募集用紙で住所、氏名を明記して応募(用紙は窓口に設置)/
・郵送 〒049-5692 洞爺湖町栄町58番地 洞爺湖町役場企画防災課/・FAX74-2121/・URL kikaku@town.toyako.hokkaido.jp

●後日意見の概要とその内容に対する町の対応を取りまとめ公表します。意見に対する個別の回答はいたしませんので、ご了承ください。

【問合せ】 企画防災課 ☎74-3004

100歳 おめでとう!

8月10日、真屋町長は、この日100歳の誕生日を迎えた篠原スエ子さんの自宅を訪問し、お祝い金と花束を贈呈。8月19日には、幸楽園を訪問し、7月27日に100歳となった阿部アツ子さんにも同様にお祝い金などを手渡し、長寿を祝福しました。



篠原スエ子さん



阿部アツ子さん

天理教洞爺湖緑化ひのきしん30周年 町から感謝状贈呈

洞爺湖町の緑化活動に貢献してきた天理教北海道教区青年会(岩谷清一委員長)は、洞爺湖緑化ひのきしん活動が30年を迎えたことを記念し、8月29日、30日の両日、約300人の同会員が参加して、ひのきしんと記念式典を開催しました。



町内の小学生と彫刻清掃に励む天理教北海道教区青年会の皆さん

29日は、中島、桜公園、湖畔彫刻の三つのグループに分かれ、清掃活動が行われました。

彫刻清掃では、今秋三豊市を訪問するフレンドリーツアーの小学生メンバー10人と一っしょに、湖畔にある彫刻33基をきれいに磨き上げました。



真屋町長から岩谷委員長(中央)に感謝状を贈呈

翌日の30日には、洞爺湖文化センターで、記念式典を実施。ツーデーマーチコースの草刈りや2000年噴火時の除灰作業など昭和61年から続く奉仕活動に、町から感謝状が贈られました。

私たちの健康をささえる 「国民健康保険制度」

■問合せ
住民課国保医療
グループ
(☎74-3002)

私たちは、日ごろ健康でも、いつ、どんなときに病気やケガをするかわかりません。そんなときにそなえて、加入者の皆さんがふだんから保険税を出し合って医療費にあてる助け合いの制度が「国民健康保険制度」です。

国保は、皆さんの住んでいる市町村が運営し、地域の健康生活をささえています。

洞爺湖町国民健康保険の医療費の状況

洞爺湖町国民健康保険の平成25年度の医療費の状況についてお知らせします。

医療費は、10億3、758万円になります。

人口の高齢化や医療の高度化、生活習慣病の増加などにより医療費は高止まりの傾向となっています。

表1をみますと、平成25年度合計の1人当たり医療費、受診率及び1日当たり医療費は、全道・胆振平均をいずれも上回っており、年度比較では医療費は依然高い状態が続いていることが分かります。

では、なぜ医療費は高いの

でしょうか？

詳しく分析すると、次の理由が考えられます。

①人口構造の高齢化

お年寄りの割合の増加にともない、医療機関を受診する機会が増え、医療費も増加してきています。

②生活習慣病など慢性疾患者の増加

生活環境の変化、食生活の向上、運動不足などにより、高血圧などの慢性疾患で受診する人が増えています。

③医学・医療技術の進歩

医学・医療技術の進歩にともない、高度な医療技術を受

ける機会が増え、その結果、1件当たりの医療費が高くなっています。

④お医者さんへのかかり方

同じ病気でも医療機関をいくつも受診したりすると、医療費がその分増えることがあります。

よく「医療費を大切に使いましょう」という言葉を耳にしますが、病院などの医療機関に行かないということではなく、病気とうまくお付き合いすると考えてみたらどうでしょうか。そして、毎日の生活の中でご自身の体調をチェックし、おかしいなと感じたら早めに受診してください。

※医療費～入院、入院外、歯科分の合計です。
北海道国民健康保険団体連合会提供の「各種医療費分析資料」による。

表1 医療費の状況

区 分		平成23年度	平成24年度	平成25年度	H25全道平均	H25胆振平均
入 院	1人当たり医療費	170,608円	178,036円	207,558円	148,410円	170,497円
	受 診 率	31.211%	31.264%	34.321%	27.901%	31.948%
	1件当たり日数	17.56日	18.54日	18.18日	16.32日	16.88日
	1日当たり医療費	31,128円	30,722円	33,260円	32,598円	31,617円
入 院 外	1人当たり医療費	112,973円	114,615円	120,616円	111,495円	114,953円
	受 診 率	827.008%	822.129%	824.823%	778.850%	778.686%
	1件当たり日数	1.51日	1.44日	1.44日	1.53日	1.45日
	1日当たり医療費	9,053円	9,687円	10,129円	9,370円	10,213円
合 計	1人当たり医療費	303,467円	314,703円	349,470円	284,507円	309,071円
	受 診 率	990.997%	992.152%	1,007.646%	955.333%	944.611%
	1件当たり日数	2.12日	2.09日	2.12日	2.08日	2.10日
	1日当たり医療費	14,468円	15,196円	16,379円	14,307円	15,604円

表 2 ※ 北海道国民健康保険団体連合会から提供の「疾病分類別統計表」より

●件数

洞 爺 湖 町				北 海 道			
H26順位	H25順位	疾 病 名	構成割合 (%)	H26順位	疾 病 名	構成割合 (%)	
1位	1位	高血圧性疾患	15.15	1位	高血圧性疾患	15.77	
2位	2位	歯肉炎及び歯周疾患	5.32	2位	歯肉炎及び歯周疾患	8.05	
3位	4位	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	5.09	3位	糖尿病	4.76	
4位	3位	糖尿病	4.90	4位	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	3.81	
5位	5位	その他の眼及び付属器の疾患	3.43	5位	関節症	2.68	

●日数

洞 爺 湖 町				北 海 道			
H26順位	H25順位	疾 病 名	構成割合 (%)	H26順位	疾 病 名	構成割合 (%)	
1位	1位	高血圧性疾患	8.08	1位	高血圧性疾患	10.17	
2位	2位	脳梗塞	5.76	2位	歯肉炎及び歯周疾患	7.37	
3位	3位	腎不全	4.41	3位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	4.17	
4位	4位	歯肉炎及び歯周疾患	4.01	4位	脳梗塞	4.02	
5位	5位	糖尿病	3.71	5位	糖尿病	3.78	

●医療費

洞 爺 湖 町				北 海 道			
H26順位	H25順位	疾 病 名	構成割合 (%)	H26順位	疾 病 名	構成割合 (%)	
1位	2位	腎不全	8.46	1位	高血圧性疾患	6.26	
2位	1位	脳梗塞	6.86	2位	脳梗塞	5.44	
3位	6位	その他の心疾患	4.09	3位	腎不全	5.30	
4位	14位	脳内出血	4.02	4位	その他の悪性新生物	4.33	
5位	4位	高血圧性疾患	3.71	5位	その他の心疾患	4.19	

●1人当たり医療費

洞 爺 湖 町				北 海 道			
H26順位	H25順位	疾 病 名	1人当たり医療費(円)	H26順位	疾 病 名	1人当たり医療費(円)	
1位	2位	腎不全	4,292	1位	高血圧性疾患	2,499	
2位	1位	脳梗塞	3,484	2位	脳梗塞	2,170	
3位	6位	その他の心疾患	2,077	3位	腎不全	2,116	
4位	14位	脳内出血	2,038	4位	その他の悪性新生物	1,727	
5位	4位	高血圧性疾患	1,883	5位	その他の心疾患	1,674	

●受診率

洞 爺 湖 町				北 海 道			
H26順位	H25順位	疾 病 名	受診率 (%)	H26順位	疾 病 名	受診率 (%)	
1位	1位	高血圧性疾患	16.41	1位	高血圧性疾患	16.05	
2位	2位	歯肉炎及び歯周疾患	5.76	2位	歯肉炎及び歯周疾患	8.19	
3位	4位	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	5.51	3位	糖尿病	4.84	
4位	3位	糖尿病	5.30	4位	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	3.87	
5位	5位	その他の眼及び付属器の疾患	3.72	5位	関節症	2.73	

病類別 疾病分類



洞爺湖町国民健康保険加入者で、平成25年度と平成

26年度にかかる疾病別諸率上位5位まで集計しています。集計にあたっては、各年度の5月診療分を基に算出しています。

表2をみますと、医療費の構成割合で上位を占めているのは腎不全、脳梗塞、循環器系の疾患などであり、一人当

たり医療費においても同様です。洞爺湖町では心疾患、脳血管疾患及び腎疾患につながる病気の糖尿病患者や高血圧症患者が多く、医療費を引き上げる要因となっています。

これら糖尿病と高血圧の予防で医療費のかかる循環器系の疾患と腎尿路生殖器系の疾

患が減少する可能性があります。洞爺湖町では、特定健康診査及び各種がん検診を積極的に受診することをお勧めしています。

がん、くも膜下出血、虚血性心疾患等の血管障害の早期発見や予防するために、年

に一度は洞爺湖町が実施する特定健康診査やがん検診を受診しましょう。



国民年金保険料「10年の後納制度」は9月30日まで!

■問合せ
室蘭年金事務所
(お客様相談室)
☎0143-50-1004
住民課・戸籍
年金グループ
☎74-3002

10年の後納制度は、過去10年間に納め忘れた国民年金保険料を納付することができ、仕組みです。(本来、国民年金保険料は2年を経過すると時効により納付することができません。)

この制度を利用すれば、将来の年金額を増やすことができます。

10年の後納制度は、平成27年9月30日をもって終了します。

終了後、平成27年10月1日から3年間に限り、過去5年間に納め忘れた国民年金保険



料を納付することができます。

「5年の後納制度」が始まりますが、10年の後納制度よりも納付できる期間が短く、保険料の加算額が高くなります。なお、老齢基礎年金を受給している方などは、後納制度の利用はできません。

後納制度を利用するには、申し込みが必要です。

詳しくは国民年金保険料専用ダイヤルへ0570-011-050へ近くの年金事務所へ問合わせください。

10月5日マイナンバー制度スタート!!

■問合せ
住民課・戸籍
年金グループ
☎74-3002

10月5日以降、マイナンバーが記載された「通知カード」が住民票の住所地に簡易書留で送付されます。

やむを得ない理由により住民票の住所地で「通知カード」を受け取ることができない方は、居所情報登録申請書を住民票のある住所地の市区町村に持参または郵送してく

ださい。

申請期間は、8月24日(月)～9月25日(金)。

◆申請が必要な方

- ・東日本大震災による被災者で住所以外の居所に避難されている方
- ・DV、ストーカー行為等、児童虐待等の被害者で住所以外の居所に移動されている方

・一人暮らしで、長期間、医療機関・施設に入院・入所されている方

◆提出書類
申請書 (お近くの市区町村、総務省ホームページで入手またはダウンロードできます。)

◆添付書類
・申請者の本人確認書類(運転免許証など)

・居所に居住していることを証する書類(公共料金の領収書など)

・代理人が申請する場合は①代理人の代理権を証明する書類(委任状など)②代理人の本人確認書類(運転免許証など)

※総務省ホームページ

(http://www.soumu.go.jp/koi/imbango_card/)

振り込ませない! 受取型・送付型のオレオレ詐欺に注意しよう!!

■問合せ
産業振興課水産・商工グループ
☎74-3005

オレオレ詐欺は最近、現金やキャッシュカードを直接被害者の自宅などにとり来る「現金受取型」や宅配便などを利用して犯人が指定した宛先に配達させる「現金型」という、「振り込ませない」振り込め詐欺の手口が急増しています。難聴等耳の遠いお年寄りをターゲットに息子、孫などの親族を装い電話をかけます。その口実は「携帯電話の番号が変わった」、「会社の携帯電話だから登録しておいて」などと言って、連絡先を犯人グループの電話に誘導します。この時、犯人は声が違うことを怪しまれないように「風邪をひいて喉の調子が悪い」などと言って、息子などの声とは異なることを不自然に思われないようにします。



そして「交通事故を起こしちゃって示談金が必要だ」「電車で会社のお金が入ったカバンを置き忘れた」「株で失敗した」などトラブルが発生したことを口実にして、「自宅まで取りに行くからお金を用意して」などと言って、せかしてお金の催促をします。ところが、「自分は行けなくなったので、同僚を行かせる」などと言って、現金受取役のいわゆる「受け子」がお金を自宅などに取りに来たり、「自分の指定する配達先まで宅配便で現金を送ってくれ」と犯人の指定する配達先まで宅配便で送り、だまし取られています。

このような「振り込ませない」受取型・送付型のオレオレ詐欺の悪質な手口からからないよう注意しましょう!(警察庁ホームページより要点抜粋)

行政に関わるくらしの無料相談会開催

■問合せ
住民課住民・戸籍
年金グループ
☎74-3002

無料法律相談会開催

■問合せ
住民課住民・戸籍
年金グループ
☎74-3002

行政相談所を開設します

■問合せ
住民課住民・戸籍
年金グループ
☎74-3002

相続手続き、遺言書の作成や、契約手続き、また官公署に提出する書類の作成などの相談に応じます。相談のある方は事前予約をしてください。

■日時 10月17日(土)
9時30分～12時

■場所 洞爺湖町役場3階303会議室

■申込み 北海道行政書士会
室蘭支部(☎76-3538・担当後藤)／住民課住民・戸籍年金グループ(☎74-3002)

■主催 北海道行政書士会
室蘭支部



金銭、相続、夫婦間、交通事故、消費者問題のトラブルなどの相談に応じます。必ず2日前の17時までに事前予約してください。

■日時 ①9月17日(木)
②10月1日(木)
13時30分～15時

■場所 ①虻田ふれ合いセンター
②観光情報センター

■担当 ①阿部洋介弁護士
(北海道みらい法律事務所)
②高村 真人弁護士
(むろらん法律事務所)

■主 催 北海道行政書士会
室蘭支部



10月19日から始まる「秋の行政相談週間」に合わせて行政相談所を開設します。

行政相談委員は、皆さんが暮らしの中で役所の仕事について困っていることや、分らないことについて、公平な立場で問題解決のお手伝いをします。

相談は無料で秘密は厳守されます。

この機会に是非お気軽にご相談ください。

△洞爺地区△

■日時 10月19日(月)
13時～16時

■場所 虻田ふれ合いセンター

△洞爺地区△

■日時 10月19日(月)
13時～16時

■場所 洞爺総合センター

◆相談内容

登記、供託、戸籍、税金、

年金、法律、不動産取引、行政一般

相談は、電話でも随時受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

◆行政相談委員

・洞爺地区 増山和世(☎76-2440)

・洞爺地区 近藤利男(☎82-5409)

小さいマツカワ ガレイはキャッチ アンドリリースを！

■問合せ
産業振興課水産・
商工グループ
☎74-3005

王蝶(おうちょう)というブランド名を持ち、自身の高級魚とされるマツカワ。漁獲量が少なくまぼろしの魚と呼ばれてきましたが、現在このマツカワを養殖・放流し水揚げを増す取組みを行っています。

同魚の資源保護のため、平成27年8月8日から平成28年8月7日までの期間、胆振総合振興局管内沖合海域で、全長35cm未満の小さいマツカワを採捕した場合は、速やかに

海中に戻してください。

洞爺湖文化センターのトイレ改修工事を実施します

■問合せ
観光振興課観光振興グループ
☎75-4400

洞爺湖町では、洞爺湖文化センターの来場者用男女トイレの洋式化工事を今秋実施します。

期間は、11月14日～12月31日までの48日間を予定しています。

期間中、同センター内控室のトイレや隣接する洞爺湖観光情報センターのトイレは使用できますので、小グループでの集まりにおいては、支障がないと思われますが、多数参加する催しを行う予定の団体の方は、観光振興課へ問合せください。

ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



役場からのお知らせ
INFORMATION

8月7
日から8日ま
で、にぎ
わいまつ
り&ビア
ガーデン
(洞爺湖
町商工会



多くの人で盛り上がったビアガーデン

青年部主催)と第13回ふれあい七夕夏まつり(虻田3区自治会主催)が、JR洞爺駅前大通り特設会場で開催されました。宮城県仙台市の七夕飾りを16基展示した大通り会場では、焼き鳥やホタテ焼きなどが出店し、仕事帰りの多くの町民らが立ち寄り、ジョッキを傾けていました。

両日にわたって、地場産殻付きウニの販売やスイカ割り、子どもお宝プレゼントなど楽しいアトラクションも実施され、最後に豪華景品が当たる大抽選があり、大いに盛り上がりました。

暑さ楽しむビアガーデン 洞爺駅前大通りで夏祭り

鉄人たちに声援響く アイアンマンジャパン北海道大会

8月23日昨年に引き続きトリアスロンの国際大会「アイアンマンジャパン北海道2015」(同実行委員会主催)が、洞爺湖温泉を発着点に開催され、国内外から約1,200人が過酷なレースに挑みました。

朝6時に洞爺湖の3.8^{キロ}コースの水泳でスタート。引き続き西胆振3町と後志6町村にまたがる180.2^{キロ}のコースを自転車で快走し、最後に洞爺湖畔42.2^{キロ}を走り切りました。温泉街には多くの人たちが集まり、一人ひとりの選手に「頑張れ!」と声援を送っていました。総合1位は、スウェン・サンバークさん(41歳)で、タイムは9時間22分55秒でした。



スタートして洞爺湖を泳ぐ選手たち

中島の自然を満喫 とうや湖GENKIDS

第4回とうや湖GENKIDS(ゲンキッズ)「洞爺湖中島で宝探し 中島を探検しよう」(教育委員会主催)が、8月22日、洞爺湖中島で実施されました。

参加したのは、GENKIDSの児童と酪農学園の学生、ブルキナファソの野球関係者ら約35人。

参加者らは、中島に到着し、カラマツ林ゲートから大平原をめざして歩きました。

道中は、酪農学園の学生から中島の植物や昆虫などの説明を受け、中島の自然を満喫。

午後からは、森林博物館周辺でGPSを利用した宝探しを実施し盛り上がりました。



大平原を目指して歩く参加者

第26回洞爺湖町水泳競技会(とうや湖水泳協会主催)が、8月29日、町民プールで



スタートを決める選手たち

開かれ、洞爺湖町水泳少年団、とうや小学校、伊達水泳少年団、一般のスイマー43人が参加し、8人が大会新記録を出しました。

競技は、男女とも小学1・2年生、同3・4年生、同5・6年生、中学生、一般の年齢別で実施され、25、50、100^{メートル}ごとの自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライと100^{メートル}の個人メドレー、メドレーリレー、フリーリレーなどが行われました。選手らは、家族や仲間の声援を受けながら、大会新を続出させる力強い泳ぎを披露しました。

自己記録の更新に挑戦 洞爺湖町水泳競技大会

洞爺湖温泉で盆踊り 浴衣姿も映える

洞爺湖温泉夏祭り（洞爺湖温泉夏祭り実行委員会主催）が、洞爺湖汽船本社前特設会場で、7月25日～8月16日まで開催されました。

焼き鳥や射的、輪投げなどの露店が並ぶ縁日もオープンされ、浴衣姿の住民や観光客でにぎわいました。

期間中の8月1日～15日まで、盆踊り大会が繰り広げられ、9日には子供盆踊り大会、14日は仮装盆踊り大会を実施。子どもから大人まで多くの人に参加して、やぐらを

取り囲み、北海盆歌や洞爺湖音頭の唄に合わせて楽しく踊りました。



洞爺湖の夏を盛り上げた盆踊り大会

夏休みに相互交流を行っている箱根町から、箱根町親善訪問使節



カヌーを楽しむ中学生たち

団（団長・漆谷義和箱根中学校教頭）が、8月4日から2泊3日の日程で洞爺湖町を訪れました。来町したのは箱根町の中学3年生6人と引率者2名。

歓迎式では、真屋町長が「短い期間ですが、洞爺湖町を楽しんで行ってください」と挨拶し、生徒を代表して、箱根中の千嘉虜良君が「自然とどう向き合っていけばいいのかそのヒントをみつけていきたい」と決意を述べました。

洞爺湖ビジターセンターなどの施設見学やカヌー体験などを行い、地元中学生と交流を深めました。

変わらぬ交流 箱根町親善使節団来町

8日の薬師の日になみ8月8日「薬師の日湯かたまつり」（湯前薬師如来奉賛会主催=朝倉英隆会長）が、足湯ポケットパークで開かれました。

同パーク内にある「湯前薬師如来堂」前で行われた法要では、約30人が参列し、洞爺湖温泉の繁栄と安全を一人ひとりが祈願。朝倉会長が「皆さんと一緒に大切な行事として、このおまつりを守っていききたい」と挨拶し、法要を終了しました。

会場には、焼き鳥やハンバーガーなどの露店も並び、ジョッキを傾けながら、夏の洞爺湖を楽しみました。

会場には、焼き鳥やハンバーガーなどの露店も並び、ジョッキを傾けながら、夏の洞爺湖を楽しみました。

会場には、焼き鳥やハンバーガーなどの露店も並び、ジョッキを傾けながら、夏の洞爺湖を楽しみました。

温泉街の反映を祈願 薬師の日湯かたまつり

町内のリーズナブルショップウロコ前のバス停に、8月10日ベンチが設置され、買い物帰り

にバスを利用するお年寄りたちに喜ばれています。

「座るものがあれば楽だね」という買い物客の皆さんの声を聞き、西山散策路の整備などボランティア活動を積極的に行っている洞爺湖町建設協会（加藤恵蔵会長）が、寄贈したものです。

ベンチは、高さ40センチ、長さ1メートル80センチ、奥行き60センチの3人掛け木製です。

赤川橋バス停にベンチ設置 洞爺湖町建設協会が寄贈



焼香を行う朝倉会長



寄贈された木製ベンチ

まちのわだい



	優良（30分）	一般（60分）	違反（120分）	初回（120分）
10月	6日（火）18:30～/16日（金）13:30～	6日（火）19:30～	7日（水）18:30～	14日（水）18:30～

暮らし

平成27年度 秋の全国交通安全運動

●運動期間 9月21日（月）～30日（水）

交通安全を自らのことと捉え、交通ルールの順守や思いやりのある交通マナーの実践が主体的に行われるよう、道民一人ひとりの交通安全意識の高揚を図ることを目的に秋の全国交通安全運動が実施されます。

●運動の重点

①児童・生徒、高齢者の交通事故防止②夕暮れ時と夜間歩行中・自転車乗車中の交通事故防止③全ての座席のシートベルト・チャイルドシート

●黄色い旗の波運動の実施

●虹田地区

■日時 9月29日（火）

information

お知らせ



※雨天時は、13時30分～14時あぶた体育館前

◆温泉地区

■日時 9月29日（火）

10時～10時30分

※雨天時は、9月30日（火）洞爺湖温泉珍小島駐車場

◆洞爺地区

■日時 9月29日（火）

10時40分～11時10分

分

※雨天時は、9月30日（水）JAとうや湖GS前

●9月30日（水）は、交通事故死ゼロを目指す日です。

◆交通傷害保険は、随時加入受付しています。

伊達警察署から

☎22-0110

9月11日は、警察相談の日です。

警察では、身の回りにおける出来事で、生活の安全等に関する幅広い相談に応じています。また、警察業務につ

ての要望・意見、苦情も受けています。

北海道警察本部の相談センターは、専門相談員が24時間対応します。各方面本部の相談センターは、平日の午前8時45分から午後5時30分の間は、専門相談員が対応し、それ以外の時間は当直員が対応します。相談内容により、他の専門機関を紹介する場合もあります。

緊急の事件・事故以外の相談については、短縮ダイヤル「#9110」（警察相談専用電話）へ連絡ください。

※ダイヤル回線電話、IP電話等「#9110」でつながらない場合は北海道警察本部へ（☎011-241-9110）。

10月1日から

公証週間です

法務省・日本公証人連合会は、毎年10月1日から7日を公証週間と定めています。

心からおくやみ 申しあげます



故伊藤キヨコさん
■7月19日死去
■85歳 ■遺族は西村恵美子さん■虹8区



故前田 豊さん
■7月13日死去
■66歳 ■遺族は加代子さん■泉区



故板谷誠一郎さん
■7月10日死去
■84歳 ■遺族は俊仁さん■入1区



故岩倉 清さん
■7月10日死去
■87歳 ■遺族はミツさん■虹5区



故小松ウメさん
■7月9日死去
■95歳 ■遺族は公道さん■虹5区



故片山一男さん
■7月9日死去
■71歳 ■遺族は喜代子さん■虹8区



故若本正憲さん
■7月31日死去
■57歳 ■遺族は香津子さん■入1区



故寺田 貢さん
■7月29日死去
■75歳 ■遺族は勝子さん■温1区



故大久保久二さん
■7月27日死去
■84歳 ■遺族はすみさん■温8区



故梶田 悟さん
■7月22日死去
■89歳 ■遺族は啓一さん■かつこう台区

	優良（30分）	一般（60分）	違反（120分）	初回（120分）
9月	24日（木）/29日（火）13：30～	24日（木）14：30～	29日（火）14：30～	10日（木）14：30～

中途難聴者・中途失聴者とは、人生の途中で聞き取りにくくなったり、聞こえなくなったり人たちのことです。話せることで「聞こえない障がい」を理解されにくい面があります。一人で悩まないで、同じ障がいを持つ仲間と交流して元気に過ごしていきませんか？

中途難聴者・失聴者 協会へのお誘い

■連絡先 ☎03・3502・8239

■期間 10月1日（木）～7日（水）
■時間 9時30分～16時30分（12時～13時休憩）

◆日本公証人連合会による電話相談

0～へ。

相談は無料、秘密は厳守されます。お気軽にご相談ください。詳細は、室蘭公証役場（☎0143・44・8630）へ。

遺言、各種契約、任意後見契約、私書証書の認証、確定日付などのご相談に応じていますので是非利用ください。

伊達消防署では、AEDを含めた心肺蘇生法と異物除去法及び止血法、緊急時の傷病者管理法など普通救命講習会より一歩踏み込んだ内容の講習会を開催します。

■日時 10月20日（火）～21日（水）の2日間 9時30分～15時

■場所 伊達消防・防災センター

上級救命講習会を 開催します

催し

西いぶり広域連合（☎0143・59・0705）

■測定日 5月28日
■測定結果 0.0008ナノグラム（ナノグラムは、10億分の1グラム）。測定結果は、基準値0.1ナノグラムを下回っています。

メルトタワー21の排ガス （煙突）測定結果（1号炉）

詳細は、北海道中途難聴者協会西胆振支部（☎0143・45・4828・FAX0143・45・4827）

がんとは診断された時からの医療との付き合い方についてお話します。

■日時 10月8日（木）14時～16時（13時30分開場）

■場所 地域交流センター 山美湖（☎0142・66・2131）

■内容 ①「納得の人生を生きるために」洞爺温泉病院ホスピス 岡本拓也氏
②「病気になるまで」

世界ホスピス緩和ケアデー講演会

■修了証 講習会に合格した方に交付
■申込み 9月20日から個人対象
■申込先 伊達消防署警防課 救急係（☎23・5119へ警防課）
■修了証 講習会に合格した方に交付
■その他 筆記用具を持参し、動きやすい服装

■受講料 無料
■定員 10名（先着順）
■申込み 9月20日から個人対象
■申込先 伊達消防署警防課 救急係（☎23・5119へ警防課）

鹿兒島県屋久島町口永良部島新岳噴火災害の義援金箱を役場窓口などで設置していましたが、7月31日をもって義

新岳噴火災害義援金

●社会福祉協議会へ寄付物品▽
▽大西信行さん（虻4区）▽
鈴木ミツさん（虻1区）▽沼田光博さん（虻5区）▽橋浦加代子さん（虻1区）▽坂井千枝さん（温3区）▽デイサービス遊

善意のご寄附ありがとうございます。

参加費 無料
問合せ 洞爺温泉病院 医療相談室（☎87・2311）

主 催 洞爺温泉病院
寄付 洞爺温泉病院 医療相談室（☎87・2311）

寄付



広告

援金箱の設置を終了しました。集まった義援金23、400円は、屋久島町で開設している義援金口座へ振り込みました。ご協力ありがとうございました。健康福祉課

お詫びと訂正
8月号p6「洞爺湖町中小企業振興資金融資のご案内」で、伊達信用金庫の電話番号が間違っていました。お詫びして訂正します。

●伊達信用金庫虻田支店 ☎76・2245 ●伊達信用金庫洞爺湖温泉支店 ☎75・2261

はつらつパパ・ママの 子育てセミナー

『パパ・ママのおしゃべりタイム♪』

子どものことや趣味のこと。

おしゃべりタイムを活用して、子育てライフを楽しみましょう！

- ★日 時 10月2日(金) 10時～11時30分
- ★場 所 健康福祉センターさわやか
- ★申込み 子育て支援センター (☎76-2008)
- ★受 付 9月14日(月)～9月28日(月)
- ★託児あります。



■問合せ
・子育て支援センター
(☎76-2008)

電源立地地域対策交付金は乳児 保育事業に役立っています。

町では、平成27年度北海道から電源立地地域対策交付金を受け、乳児(0歳児)保育事業を行っています。



この交付金事業は、北海道が水力発電施設(虻田発電所)設置により生じた自然環境又は生活環境への影響を緩和するため水力発電施設周辺市町村に対し交付されるものです。

この事業は、就労形態が多様化している近年において、保育所に対する様々なニーズに応える一環として事業の実施が図られたものであり、平成27年度洞爺湖温泉地区の桜ヶ丘保育所において実施しています。

この度の事業運営により地域社会における児童福祉に寄与できたものと考えています。

企画防災課企画グループ (☎74-3004)

こんにちは赤ちゃん プレママ臨時サポート「商品券」配布

北海道では、対象となり、申請をされた出産前後の家庭に、道内の取扱店で利用できる商品券(5千円分)を配布します。

【対 象】平成27年1月1日～12月31日に母子健康手帳の交付を受け、申請時に道内に居住の方

詳細は、健康福祉センター(☎76-4006)へ。町のホームページにも内容を掲載しています。



オータムジャンボ宝くじ発売!

- 1等・前後賞合わせて5億円(1等3億円/前後賞各1億円)
- 発売金額 1枚300円
- 発売期間 9月28日(月)～10月16日(金)
- 抽選日 10月23日(金)



この宝くじの収益金は、市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

4月にスタート! 生活困窮者自立支援制度

今年の4月1日生活困窮者自立支援法施行に伴い、北海道胆振総合振興局でも、様々な事業を実施しています。

この制度では「住まいに関すること」、「仕事に関すること」、「生活費に関すること」など生活において様々な困難を抱えている方に対する総合的な支援を行います。

●生活困窮者自立支援制度により実施される事業

自立相談支援事業

生活と就労に関する支援員を配置し、総合相談窓口として「生活就労サポートセンターいぶり」を開設しました。情報とサービスの拠点として活動します。

訪問相談・支援も含め、生活保護に至る前の段階から早期に支援します。

■住居確保支援

再就職のために住居の確保が必要な方に対して「住居確保給付金」を有期で支給します。

■就労支援

早期就労が見込まれる方に対して、自治体とハローワークによる一体的な支援を行います。

■子ども・若者支援

生活困窮家庭の子どもに対する学習支援や保護者への進学助言を行います。

◆相談は「生活就労サポートセンターいぶり」まで気軽にお電話ください。

相談者専用フリーダイヤル0120-09-0783

■問合せ 胆振総合振興局社会福祉課地域福祉係 (☎0143-24-9836)



読書の家から



新刊案内

■あぶた読書の家

▲一般▽▽いのちが喜ぶ生き方(矢作直樹)▽銀翼のイカロス(池井戸潤)▽福も来た(群ようこ)▽風花帖(葉室麟)▽六花落(西條奈加)▽峠しぐれ(葉室麟)▽余命1年のスタリオ(石田衣良)▽ジョン・マン5立志編(山本一力)▽火花(又吉直樹)

■みずうみ読書の家

▲一般▽▽意次ノ妄(佐伯泰英)▽火花(又吉直樹)▽花や散るらん(葉室麟)▽一〇三歳になってわかったこと(篠田桃紅)▽ベトナムの桜(早岩弓枝)▽本を読む女(林真理子)▽ジヴェルニの食卓(原田マハ)▽長いお別れ(中島京子)▽確証(今野敏)▽秋山祐徳太子の母(秋山祐徳太子)▽お父さんの石けん箱(田岡由伎)▽太陽は氣を失う(乙川優三郎)▽出世花(高田郁)▽強襲

(笹本稜平▽勁草(黒川博行)▽共生の「くに」を目標して(赤堀芳和)▽野生のゴリラと再会する(山極寿一)▽地球を突き動かす超巨大火山(佐野貴司)▽豹変(今野敏)

■洞爺総合センター図書室

▲一般▽▽生き残った者(上橋菜穂子)▽還って行く者(上橋菜穂子)▽火花(又吉直樹)▽異邦人(いりびと(原田マハ)▽狗賓童子の島(飯嶋和一)

▲児童書▽▽サムとデイズ、あなをほる(マック・バーネット文 ジョン・クラッセン絵ながわちひろ訳)

ピノキオ読み聞かせ会

■日時 10月7日14時30分

■場所 あぶた読書の家

●開館時間

10時～18時(7月～9月まで)

●9月休館日

10日・17日・21日・22日・23日・24日・10月1日・8日

(毎週木曜日・祝祭日休館)

あぶた ☎76・2100

みずうみ ☎75・4702

わたしのうた



短歌

「あぶた短歌会」

八月定例会

草取りをやめ突然息子は病院へ

体のいたみは虫のせいだと

我が脳を隅から隅までつかひつつ

短歌一首をやっと生み出す

炎天の砂利道ふめばでこぼこと

吾にきびしき明日へのいのち

大学のパンフレットが日に三通

どこで知ったか孫あて届く

猛暑の中汗をふきふき見渡せば

木槿咲き出し秋の趣

俳句

「あぶた俳句会」

八月定例会

青時雨止みて湯気立つ牧の馬

一つ道帰へる農夫に夕の虹

放水の虹清すがし切なさも

甲子園今ヒーローの生まれる日

この夏はオゾン破れて荒れる様

哲人のやうな顔出す夏蛙

夏の海子等の飛沫に日矢折るる

山本 孝

北島 加代

大西 芳子

太田 智

元田 フジ子

矢野 知子

菅原 敏子

那須 伶子

三瓶 修

小笠原 勇

千葉 征子

佐藤 美風

今月の1冊



「おばけのてんぷら」

せなけいこ著

てんぷら大好きのうさこちゃんおいしいてんぷら揚げようと……。そこへおばけくんが匂いにさそわれやってきて……。なにがおこるのかな？作者独特の貼り絵の手法で描かれています。紙の持つやわらかい手触りと温かさが画面から伝わってくる楽しい絵本です。





健康福祉センターさわやか ☎76-4006

口腔がん検診のお知らせ

■日時・会場 ※希望する会場で申込みできます。

①10月24日(土)14時～17時
室蘭市保健センター

②10月31日(土)14時～17時
伊達市保健センター

- 対象 20歳以上
- 定員 160名
(申込み多数の場合抽選)
- 料金 1,000円
- 検診内容 問診、専門医による口腔内の視診・触診
- 主催 室蘭歯科医師会
- 共催 日本口腔外科学会北海道支部
- 申込み締切り 9月28日(月)までに健康福祉センターへ
(☎76-4006)



口腔がん

について知ろう

□ 口腔がんとは、口の中やその周辺にできるがんのことです。できる部位によって舌がん、歯肉がん、口腔底がん、頬粘膜がんなどと呼ばれます。口腔がんの発生率は、体に行っているがんの1/3%と比べていますが、以前に比べると、血などの症状はありませんが、硬いしこりが触れる場合があります。

□ 口腔がんになる人は男女とも増えてきています。口腔がんの年齢的な特徴を見ると、50歳頃から増え始め、70歳代が最も多くなっています。

□ 症状は、初期では痛みや出血などの症状はありませんが、硬いしこりが触れる場合があります。

口腔がん チェックリスト



- ☐ 1日にタバコを10本以上吸う
- ☐ タバコは、葉巻やパイプが好き
- ☐ 50歳以上で、飲酒時にタバコも吸っている
- ☐ 飲酒するとすぐに顔が赤くなる
- ☐ 強いお酒が好きだ
- ☐ 歯を磨かない、入れ歯の掃除をしない
- ☐ 頻繁に舌や頬の粘膜を咬む
- ☐ 入れ歯や歯の詰め物が当たって痛い
- ☐ 偏食がある(ビタミンや鉄分不足)
- ☐ がんになったことがある

ります。また、2週間以上経っても治らない口内炎がある場合は注意が必要です。進行するとしこりが大きくなり、潰瘍を形成して痛みや出血が出現することがあります。さらにしこりが増大すると、言葉が喋りづらくなり、食事がとりづらくなり、口が開けづらくなることもあります。

口腔がんの原因

タバコ、お酒、合わない入れ歯や虫歯・歯周病を放置していると口腔がんのリスクが高くなります。

☆チェックリストで口腔がんのリスクがあるかどうか確認してみましょう。

※「チェックがついた」「口腔がんになる」というわけでは

ありませんが、チェックがついた人は、つかない人に比べて口腔がんになりやすい体質であったり、またはなりやすい環境にあると考えられます。進行すると生命に関わります。

初期の口腔がんの場合、簡単に治すことができ後遺症もほとんど残りませんが、進行した場合、治療により舌やあごの骨がなくなったり、顔が変形してしまう場合もあり、食事や会話が障がいが生じます。そのため、早期発見・早期治療が重要となります。

普段気にかけることが少ないお口の健康状態を知る機会にもなります。この機会に口腔がん検診を受けてみませんか？

2000年噴火の避難所体験を次世代に



約50名の中学生が参加しました

2000年の有珠山噴火から15年が経過し、次期噴火への備えが必要とされています。

そこで1977年噴火の8月7日に合わせ、洞爺湖町教育委員会と「避難所開設体験学習会」実施委員会が主催し、中学2年生を対象とした「避難所開設体験学習会」が開催されました。

洞爺湖有珠山マイスターの荒町美紀さんの講話では、避難所では、プライバシーの確保や体調管理が難しかったこと、高校生が子どもの相手をしてくれてとても助かったことなど、実際の避難所での体験が伝えられました。

参加した中学生からは、「避難所生活は思った以上に大変そう」「中学生にもできること(小さい子どもの遊び相手等)があると思ったので、自分にできることを考えたい」「思いやりを持つことが大事だと思った」という感想が聞かれました。

オリジナル
エコバック

「大地のポケット」で世界ジオパークの町をPR!

洞爺湖周辺の実り豊かな大地を、もっとPRしたい!ということから生まれたオリジナルエコバック「大地のポケット」。日本屈指の鞆製造地である兵庫県豊岡市(山陰海岸ジオパーク)の職人が仕立て、1点ずつシリアルナンバーを付けた世界に一つだけの仕様です。

洞爺湖有珠山ジオパークの大地の物語と、山陰海岸ジオパークの鞆職人の技術が結びついて完成したこのバックを、来年2月まで、**毎月抽選で5名の方**にプレゼントします。

ぜひ、このバックを使って「世界ジオパークの町」のPR役になってください!ご希望の方は、ハガキもしくはファックスで、下記内容に回答の上、ご応募下さい。9月分の締切は10月9日の消印まで有効です。当選は発送をもってかえさせていただきます。なお、一度当選された方は対象となりませんのでご留意下さい。



内側にはシリアルナンバーのタグ付き。

1. 応募者のお名前
2. 連絡先電話番号
3. お届け先ご住所(洞爺湖町内に限ります)
4. ジオクイズ

「中島(大島、饅頭島、観音島、弁天島)は、どうやってできた島?」
(下記①～③から正解と思うものの番号を記入してください)

- ① 洞爺湖ができる前の噴火でできた
- ② 約5万年前に、噴火口を移動しながら火山活動をくり返してできた
- ③ 大雨で回りの土砂が流され、たまたま残った部分が島になった

8月号のジオクイズ

「洞爺湖はどうやってできた湖?」

答えは「約11万年前の巨大噴火で

できた穴に水がたまってできた」でした!

～ 応募先 ～ ☎049-5692

洞爺湖町栄町58番地 洞爺湖町役場ジオパーク推進課

※ファックスの方は Fax 76-4727 まで

2015 月浦ワインまつり

■日 時 10月4日(日) 10時～15時

■会 場 グリーンステイ洞爺湖 (洞爺湖町月浦)

■前売り券

白ワインセット

(ワイン<360ml>+あか毛和牛+野菜) 1,700円

赤ワインセット

(ワイン<360ml>+あか毛和牛+野菜) 1,900円

◆当日券は各セットプラス 400円

●電話予約できます。

●雨天の場合は当日会場にて引換えのみ行い、払い戻しはできませんのでご了承ください。

★前売り券販売所

グリーンステイ洞爺湖 / とうや湖農協虹田支所 / 洞爺湖温泉観光協会 / 洞爺まちづくり観光協会 / 洞爺湖商工会 / とうやMarche (マルシェ) / 役場産業振興課・洞爺総合支所 / 温泉支所

送迎バススケジュール

A 虹田地区～洞爺湖温泉地区～会場

①泉バス停発 10:30→入江バス停→高砂公園→赤川橋→洞爺駅前→役場前→洞爺湖文化センター前 11:00→会場着 11:10

②泉バス停発 11:30→上記バス亭→会場着 12:10

●帰りは 13:30 と 14:40 会場発 (行きと逆回りで停車)

B 洞爺地区～会場

とうや水の駅 11:00→会場着 11:20

●帰りは 14:00 会場発

■問合せ

観光振興課 (☎75-4400)

主 催

月浦ワインまつり実行委員会

第4回

洞爺湖周辺の特産品が勢ぞろい

不秋穫祭

■と き 10月18日(日) 10時～15時

■と ころ 洞爺湖汽船駅前棧橋特設会場

主な内容

- 日限りのバーベキューが大人気
洞爺湖黒毛和牛、豊浦SPF豚のブランド肉を炭火で味わえる(前売り券発売)。
- 秋サケつかみどり
- 秋の洞爺湖野菜詰め放題
- 洞爺湖温泉宿泊券などが当たる抽選券付飲食チケット当日500円で販売

■問合せ 第4回大秋穫祭実行委員会
(事務局・洞爺湖町商工会<☎76-2311>)

洞爺湖芸術館 催し案内

洞爺湖町小・中学生作品展

この秋、洞爺湖芸術館に、町内の元気な子供たちの作品が勢ぞろいします。

■日 時 9月15日(火)～
10月4日(日)

ギャラリーコンサート

年に1度の芸術館の贅沢な夕べ

■日 時 9月27日(日)
18時～19時30分
(会場 17時30分)

■料 金 500円

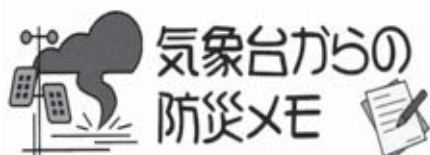
◆洞爺湖芸術館開館時間

10時～18時(10月からは16時) ☎87-2525

9月の健康・子育て・イベントカレンダー



日(曜)	行 事	時 間	場 所
10日(木)	フッ素塗布	13:00~14:00	洞爺ふれ愛センター(☎76-4006くさわやか>)
11日(金)	洞爺地区健康相談	9:30~11:30	洞爺総合支所(☎82-5111)
	親子ふれあい遊び	10:00~11:30	地域交流センター(☎76-2008子育て支援センター>)
12日(土)	北海道ツーデーマーチ(～13日)		洞爺湖畔周辺(☎75-4400事務局>)
14日(月)	結核・肺がん検診(～16日)		虻田地区
16日(水)	げんきクラブ	13:30~15:30	洞爺ふれ愛センター(☎76-4006くさわやか>)
	保育所開放	10:00~11:30	桜ヶ丘保育所(☎75-2088)
17日(木)	乳児健診	13:30～	健康福祉センター(☎76-4006)
18日(金)	洞爺地区健康相談	9:30~11:30	洞爺総合支所(☎82-5111)
25日(金)	保育所開放	10:00~11:30	本町保育所(☎76-2673)
30日(水)	保育所開放	10:00~11:30	洞爺保育所(☎82-5559)
10月2日(金)	洞爺地区健康相談	9:30~11:30	洞爺総合支所(☎82-5111)
	生活習慣病対策講演会	18:00~19:30	役場防災ホール(☎76-4006くさわやか>)
7日(水)	保育所開放	10:00~11:30	本町保育所(☎76-2673)
9日(金)	保育所開放	10:00~11:30	本町保育所(☎76-2673)



室蘭地方気象台 ☎0143-22-3227

大雨による気象災害から身を守りましょう

盛 夏から秋にかけては、大雨が降り易くなり、色々な災害が発生します。大雨による災害は、地盤が緩んで発生する土石流やがけ崩れなどの「土砂災害」、短い時間に局地的な大雨による低い土地での「浸水害」、河川の増水やはん濫といった「洪水害」があります。

気象台では、大雨による「土砂災害」や「浸水害」のおそれがある場合に「大雨警報・注意報」を、洪水による災害のおそれがある場

合に「洪水警報・注意報」を発表します。また、「警報・注意報」では、本文の中で、どんな災害に警戒・注意すべきかを期間と共に記述します。テレビやラジオなどで発表を知ったときには、気象台ホームページなどで内容を確認し、市町村が発表する避難情報などにも留意しましょう。

大雨警報が発表されている中で、土砂災害が発生する危険性がより高まったときには、「土砂災害警戒情報」を発表します。この場合はより一層の警戒が必要です。

普段の備えと、警報・注意報などの気象情報を上手に使うことで、気象災害から身を守りましょう。



こんにちは赤ちゃん

ご家族の深い愛情につつまれて誕生したプリンセスのご紹介です。

ご家族は「早く大きくなーれ」と成長を楽しみにしていることでしょう。

いろいろな可能性を秘めて、洞爺湖町に誕生した赤ちゃん。その純粋な瞳は何を見つめているのでしょうか？



平間 菜瑚ちゃん
(なこ)
義陸さん・亜季さん
6月19日生 虻6区

洞爺ミニバレー部

代表 星 亮太さん 25人



洞爺 ミニバレー部は、18年程前に、大原地区で、学校の先生と農業後継者の青年らによって、気軽なレクリエーション活動として始まりました。

ミニバレーは、北海道の大樹町で考案されたといわれ、バドミントンのダブルス用コートとビーチボールのような

柔らかいボールを利用し、4人対4人でボールを打ち合うスポーツです。

コートが狭く、ボールも柔らかいことで、老若男女誰もが楽しめる生涯スポーツといわれています。

一方、柔らかく軽いボールのため、動きが不規則で予測がつかないことが、このスポーツの魅力の一つとなっています。

気軽さも手伝って、会員らも日々の「気分転換」や「リフレッシュ効果」を狙い、和気あいあいとした雰囲気の中でミニバレーを楽しんでいます。

活動は、毎週火曜日19時～21時まで洞爺中学校体育館を使い、試合形式で行っています。平均年齢が30歳前後の若い世代のサークルで、友達作りや世代間の交流も会員らの魅力となっているようです。

年齢や男女を問わず、子育て中の方でも歓迎です。

興味のある方は、代表の星亮太さん（☎090・5984・4408）まで連絡ください。

今月のワンショット



虻田神社例大祭
神輿渡御駐輦祭で神社前の踏切を渡る神輿

マイナンバー制度 のパンフレット配布

マイナンバー制度実施にともない、10月に通知カードが個人に送られます。

広報とうや湖8月号で、9月に同制度のパンフレットの回覧をお知らせしましたが、10月に、各戸配布することに変更しましたのでお知らせします。

人口と世帯の動き 7月31日現在（先月比）

男	4,345 人	(△14)
女	5,061 人	(+2)
計	9,406 人	(△12)
世帯	5,039 世帯	(+2)